

令和3年度 日本大学 学生FD CHAmmit  
第3回 スタッフミーティング報告書

日本大学学生FD CHAmmitスタッフ一同



日 本 大 学

第3回スタッフミーティングでは、

【日本大学に学部を新設する場合の学部名と設置する場所は?(学部、場所ともに既出のものでも可能)】というテーマで話し合いました。

今回は、学生スタッフが CHAmmit 当日のファシリテーションの練習をすることを目的としており、以下について取り組みました。

- ファシリテーター、タイムキーパー、発表者の三役を学生スタッフの中から選出する
- ファシリテーションマニュアルを見ながら、学生スタッフ主体のディスカッションを行う



# ファシリテーションマニュアルの概要

## ★前提：会話を大事にすること

CHAmiTは、“chat”と“summit”に由来します。他の意見を尊重して活発に議論することが目的です。

## ●批判厳禁

どんな意見でも否定せずに受け入れましょう。発信しやすい雰囲気づくりをして、しゃべり場が盛り上がるように心がけることが大切です。

## ●自由奔放

テーマに関係することであればどんな意見でも構いません。奇想天外なアイデアを歓迎しましょう。

## ●傾聴

相手の意見をしっかり聞いてリアクションを取りましょう。発言者が意見を発信しやすくすること及び聞き手も主体的に会話に参加することを目指しましょう。



# 総括

個別のグループワークと全体での発表において多くの改善点が見つかりました。詳細については以下の通りです。

## ●全体発表の遅延について

- …全体での発表が当初の予定よりも押してしまいました。
  - 発表の時間にリマインドするタイミグを設ける
  - グループワークで出たアイデアのまとめ方について、いくつか例を作って紹介する

## ●結論を出すことが達成できていなかった

- …グループディスカッション(以下、GD)では様々な意見を出すことができたが、それらをまとめて発表しやすい形になるまで整えることができなかった
  - GDに取り掛かる前に具体的な説明をする

## ●オンラインでのGDに慣れていなかった

- …ジャムボードの使い方や、整理の仕方についてまだ慣れていない人が多かった
  - CHAmmit本番に向けて各役割や発表に必要なスキルを再度説明する

この他にも様々な改善点が見受けられましたが、次回以降は上記の内容の改善をメインにCHAmmitを進めていきたいと思っています。